

講座 テーマ	学校における福祉的視点	担当者	豊田 保
<p>講座の到達目標及びテーマ：</p> <p>学校は子どもたちに対する教育の場であるが、子どもたちにとっては日々の生活を構成する一つの領域（教育分野）として学校が位置している。日々の生活のなかには、家族関係、家族の経済状態、家族と地域社会との関係、友人関係、習い事などが、子どもたちの生活を構成する要素として存在している。子どもたちの日常生活の構造について多面的に理解し、その生活のうえに学校（教育機能）が位置づいていることについて理解を深めることとする。</p>			
<p>講座の概要：</p> <p>子どもの貧困、孤食、児童虐待、朝食をとらない児童の増加、不登校など、子どもに係る諸課題がマスコミでも数多く取り上げられているように、子どもたちの生活には様々な解決すべき課題が存在する。教育は、それ自体は独立した社会的な機能であるが、子どもたちの日常生活の一つの領域として位置付けられる性格を持つため、生活のあり方と密接な相互関係を有すると考えられる。</p> <p>ゆえに、教育の場においては、教育の視点から子どもたちを理解すると同時に、生活の視点からも子どもたちを理解することが必要であろう。</p> <p>そのために、現在の子どもたちの置かれている生活上の諸課題についての理解を深め、そのうえで改めて教育の持つ役割について理解を深め直すことを目標とする。</p>			
形態	講義により実施する（時々、質問させて頂いたりします）。		
テキスト	資料を配布する。	試験方法	筆記試験
<p>評価：</p> <p>修了認定のための筆記試験（100点満点）を講習時間内に30分程度で実施する。</p>			
<p>講座受講希望者への事前連絡：なし</p>			

講座 テーマ	学校における福祉的視点	担当者	隈 直子 (九州看護福祉大学)	
<p>講座の到達目標及びテーマ：</p> <p>学校、家庭あるいは地域における子どもを取り巻く状況を理解したうえで、子どもを支援する法制度や支援サービス、多機関連携等について理解を深める。</p>				
<p>講座の概要：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童虐待に関する法制度と虐待を受けた児童への支援サービスの解説 2. 子どもの貧困に関する法制度の解説 3. 子どもをめぐる支援機関の連携に関する解説 				
形態	講義			
テキスト	当日、資料を配布する。	試験方法	筆記試験	
<p>評価：</p> <p>修了認定のための筆記試験（100点満点）を講習時間内に30分程度で実施する。</p>				
講座受講希望者への事前連絡：				